

中堅・中小企業における経営革新実践セミナー

～社長のビジョンについて来れない社員はいらない～

セミナー受講のおすすめ

激しい環境変化の中で、企業は、優れた顧客価値を創造し続け高い成果を生むために、競争優位性のある経営の仕組みを確立することが求められています。「顧客本位・独自能力・社員重視・社会との調和」の基本理念の下、8つのカテゴリーからなる経営全体の体系的なフレームワークを用いて社長のビジョンを実行しようとする「経営品質向上プログラム」は、特に中堅・中小企業の経営革新に極めて有効であることが実証されています。

本セミナーでは、この経営品質向上プログラムの解説「**経営品質向上プログラムの考え方とアテンション経営(=気づきの経営)**」とその導入成功事例「**顧客価値を創造し続けられる組織風土革新**」をご紹介しますと共に、経営革新を成功させるための経営品質向上プログラムの実践的な導入方法として「**中堅・中小企業のための経営革新実践塾**」をご提案致します。

セミナープログラム

< 解説 > 「経営品質向上プログラムとアテンション経営(=気づきの経営)」(13:30～14:30)

株式会社日本総合研究所 理事 高梨 智弘

- 経営品質向上プログラムの考え方と優位性、更にそれが中堅・中小企業の経営革新に有効であることを解説します。
- また、経営品質向上プログラムの実践の効果を飛躍的に向上させる21世紀型ナレッジ・マネジメントベースの「アテンション経営」(=気づきの経営)を易しく解説します。

< 成功事例 > 「顧客価値を創造し続けられる組織風土革新」(14:40～16:10)

株式会社J・アート・レストランシステムズ 代表取締役社長 望月 広愛

- 外食産業全般の市場縮小と地域での激しい競争環境下で、「他社の真似のできない組織の風土で差別化をはかる」に重点を置き、人・チーム・組織づくりを起点として顧客価値を創造し続ける状態への組織風土改革を行い続け、2005年度に「日本経営品質賞(中小規模部門)」を受賞するまでの道のりを紹介します。

< 実践 > 「中堅・中小企業のための経営革新実践塾」(16:20～17:30)

株式会社日本総合研究所 研究事業本部 研究員 三浦利幸、和田 允、矢澤真徳

- 経営品質向上プログラムの考え方をベースに、中堅・中小企業における経営革新を成功させる実践的な方法として「経営革新実践塾」を提案します。
- 「経営革新実践塾」は、セミナー(集合教育)と個別企業別コンサルティングの組み合わせにより、経営品質のカテゴリーが求めている内容の理解～課題の明確化～経営革新施策の策定・実行・評価までの経営革新の実践を一気通貫で支援する方法に特徴があります。
- また、その他の中堅・中小企業における経営革新を支援するサービスも紹介します。

セミナー実施要領

日 時：2006年3月13日(月) 13:30～17:30(13:00開場)

会 場：株式会社日本総合研究所

東京本社 1Fセミナールーム

東京都千代田区一番町16番 (地下鉄半蔵門、麹町、市ヶ谷、JR市ヶ谷駅下車)

主 催：株式会社 日本総合研究所 研究事業本部

対象者：中堅・中小企業の経営幹部

受講料：一名につき5,000円(税込)

定 員：100名